

令和6年度 事業計画書

令和5年度に入り、過去3年間にわたり大流行した新型コロナウイルス感染症に対する公衆衛生上の分類が5月に第2類から第5類に変更されました。この変更により、社会的制約が解除され、経済活動が徐々に新型コロナウイルス感染症発生前の水準に戻り始めました。この状況は、当センターの事業にも若干の回復をもたらしました。

令和6年度は、センターの運営に影響を及ぼす「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（以下、フリーランス保護法とする。）」が施行される予定で、その手続きの煩雑なことから事務量の増大が見込まれます。そんな中であってもセンターを適切に運営していくためには、会員・役職員ともに協力しDX化（デジタルトランスフォーメーションの略で、デジタル技術を用いて組織の業務やビジネスモデルを革新し、効率化と価値創出を目指す取り組みです。）をより一層推し進める必要があります。また、同じく影響が大きい令和7年度末見込まれる事務所の移転について、移転後も滞りなく事業を運営できるよう当年度中から準備していく必要があります。

物価高騰影響もあって高年齢者を取り巻く環境は厳しいことから、高年齢者に対する就業情報の提供を充実させ、新たな就業先の開拓を推進し就業機会の確保に努め、雇用促進の役割を果たすことがより重要なこととなっております。その役割も含めて高年齢者の社会参加促進の一翼を確実に担うことができると考えています。

また、センター事業の発展のために、技能講習会の開催、体験の場の提供、就業のみならず健康の維持・生きがいの充実・社会貢献の機能を併せもつセンターの魅力の発信及び女性部の活動の推進でその課題に取り組んでいきます。

さらには、「安全は全てに優先する」を合言葉に、安全就業への取り組みの確実な実施と、高年齢者が健康で生きがいをもって働き続け、地域社会に貢献するための組織という理念のもと、会員の活躍の場の拡大とともにセンターの発展に努めていきます。

会員の確保 会員数 351名

就業率 93.0%

契約金額 1億5千3百万円

1 就業に関する情報の収集及び提供

全ての機会を通じて、地域に密着した就業情報の収集に努め、企画・広報委員会を中心とした広報活動を積極的に行い、次の活動を通じて広く就業情報の提供に努めます。

- ① 町広報への記事の掲載
- ② ホームページ及びFacebookの活用
- ③ 会報「シルバー猪名川」を発行
- ④ センターだよりの発行（会員向け）
- ⑤ 「いながわまつり」等での広報活動
- ⑥ シルバーまつりの開催
- ⑦ 入会説明会参加者に対する情報提供

⑧ Smile to Smile による情報の提供

2 就業に関する調査及び研究

就業開拓員を中心とし、町内の事業所及び家庭を訪問し、需要や課題の分析を行い、高年齢者の就業に適した仕事の調査及び研究を進めます。

3 就業相談の実施

会員の入会および就業に関する相談を実施し、高年齢者の生きがいの充実と働く意欲の向上に努めます。

- ① 地方公共団体、各種団体、事業所等との連携により、各種情報を収集し、就業に関する相談を実施
- ② 入会説明会において就業に関する情報提供を行うとともに、就業に関する相談を実施
- ③ 入会前の高年齢者に対する体験就業を実施
- ④ 就業に関する問題や悩み、センターに対する要望等について、相談できる「就業相談」を実施
- ⑤ 入会説明会・就業相談会のオンライン実施

4 就業機会の確保及び提供

現在の就業先が維持できるように配慮しながら、家庭や企業からの受注拡大を図り、就業機会の確保と拡大に努めます。

- ① 独自に実施している事業の継続と推進及び新規事業の実施
 - ア 竹林整備事業
 - イ ゴミ当番支援サービス
 - ウ 親子あそびの広場
 - エ 空き家管理サービス
 - オ 子育て支援ホームヘルパー派遣事業
- ② 行政との連携による公共事業の確保と新規開拓
- ③ 会員の自主的事業運営参加と職群班化の推進
- ④ 企画・広報委員会を中心とした新規事業創出への取り組み
- ⑤ シルバー派遣事業の実施
- ⑥ 有料職業紹介の実施

5 講習会等の開催

高年齢者の就業機会の拡大のため知識・技能の習得等を目的としてセンター主催の講習会等を実施するとともに、各種団体等が実施する就業に関する技能講習への参加を促します。

- スマートフォン活用講習会、ときめくお洒落講習会（兵庫県シルバー人材センター協会との共催）
- 接遇研修会
- 交通安全講習会
- 普通救命講習会

● 蜂の刺傷事故対策講習会

6 安全・適正就業の推進（安全・適正就業委員会）

「安全はすべてに優先する。」を基本に、自己啓発を促すなど、組織を挙げて事故防止に取り組めます。

- ① 委員会、研修会等を通じて、事故防止を含めた安全就業に対する意識の向上を図ります。
- ② 安全に関する講習会を実施します。（普通救命講習会、交通安全講習会、蜂の刺傷事故対策講習会）
- ③ 安全パトロールによる巡回指導を実施します。
- ④ 車両運転を含めた交通安全及びマナーに関する意識向上を図ります。
- ⑤ 就業時における安全保護具の着用並びに安全用具の使用の徹底を図ります。
- ⑥ 安全就業に係る啓発記事の作成
- ⑦ 業務用機械の貸出基準案の策定
- ⑧ 就業制限の基準を守って、安全・適正基準の厳格な運用を図ります。
- ⑨ 就業状況を毎月検査し、就業機会の公平化に努めます。
- ⑩ 安全適正推進員を配置し、安全適正就業に努めます。

7 女性会員の拡大

(1) 女性部の活動の支援

女性会員拡大のため、女性部の企画・実施する次の活動を積極的に支援します。
本年度の主な活動予定：各種講習会、健康体操、しめ縄づくり講習会、
健康に係るセミナー、その他

(2) 子育て支援ホームヘルパー派遣事業

産前・産後間もない方に対する家事支援サービスを新たに開始し、女性の就業機会の確保に努めます。

8 地域班活動の支援

会員相互の連携と結束による活力あるセンター運営を目指し、地域班独自の活動を積極的に支援します。また、地域班担当理事、企画・広報委員会及び地域班が連携し、さらなる活動の充実を図ります。

各地域班の活動

大島	地域班会議・地域班連絡員会議の開催 大島小学校区まちづくり協議会の清掃奉仕活動に参加 大島サマーフェスティバルへの参加 シルバーまつりへの参加 ランチで新年会の開催
----	--

楊津	地域班会議・地域班役員会の開催 道の駅周辺の美化奉仕活動 シルバーまつりへの参加、親睦会の開催
白金	地域班会議の開催 パークタウン中央バス停周辺美化奉仕活動・花壇の管理 白金フェスティバルへの参加 シルバーまつりへの参加、懇親会の開催
猪名川	地域班会議の開催 さんさん公園の美化奉仕活動 シルバーまつりへの参加
つつじが丘	地域班会議の開催 差組公園の美化奉仕活動・花壇の管理 シルバーまつりへの参加、懇談会の開催
松尾台	定例交流会の開催 日生中央駅周辺の美化奉仕活動・花壇の管理 シルバーまつりへの参加 レクリエーション
旧阿古谷	阿古谷川沿い通学路の点検・美化奉仕活動 社会福祉会館進入路の美化奉仕活動 シルバーまつりへの参加

9 猪名川町社会福祉会館の管理

猪名川町社会福祉会館の指定管理者として、利用者のサービス向上に努めるとともに、シルバー人材センターの拠点施設として効果的な運営管理を図ります。

10 福利厚生事業（共益事業）

会員相互の親睦や連帯意識の高揚並びに生きがいと健康づくりを目指した事業を計画します。

- ① 会員相互の親睦を深める事業：グラウンド・ゴルフ大会（2回）、親睦旅行の開催
- ② 会員の趣味を生かした各種活動の支援：同好会活動（囲碁、ゴルフ、グラウンド・ゴルフ、てくてく・もぐもぐ、詩吟）の支援、同好会立ち上げの支援
- ③ 会員の慶弔見舞金等の給付

11 社会奉仕活動等の実施

地域社会に貢献するため「環境美化運動」など、働くだけでなく地域社会にお返しをするためセンターの会員が多数参加する方策と地域に喜ばれる内容を検討し実施します。

- 社会福祉会館～ゆうあいセンター～北野バイパスの清掃奉仕活動

1.2 その他当センターの目的を達成するために必要な事業

(1) 公益社団法人としての確実な事業運営

定款に定める目的を推進するため、法令を遵守し、必要な規程を整備し、センターの健全な事業体制の確保に取り組みます。

(2) 運営基盤の強化・組織の充実

- ① 財政の健全化を図るため、就業実績の拡大は勿論のこと、経費の削減に努め組織体制の見直しを推進します。
- ② 基本理念を踏まえた事業を推進するため、役員等の役割や活動の明確化を図り組織強化に努めます。
- ③ 専門委員会の活発な活動により、事業の充実を図ります。

安全・適正就業委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 会員の健康・安全・適正就業に係ること ● 事故防止に係ること ● 職群班に係ること
企画・広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 会報「シルバー猪名川」の編集と発行 ● 就業開拓と普及啓発に係ること ● 地域班に係ること
総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 総務・財務及び組織に係ること ● 他の委員会の所掌外のこと
親睦委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 親睦事業に係ること ● 同好会に係ること ● 会員の相互扶助及び福利厚生に係ること
女性部	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性会員の拡大に係ること ● 高齢者の福祉に資する事業の企画
シルバーまつり実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● シルバーまつりに係ること

- ④ 事務局体制の充実強化により、職員の意識改革を図り、適正な役割分担のもとに協力しながら組織体制の構築に努めます。また、関連の研修等へ参加し、職員の資質向上に努めます。
- ⑤ 健全な財政運営を図るために人件費の効率的な執行や、配分金基準単価及び事務費の改定など自主財源の確保に取り組みます。
- ⑥ インボイス制度（取引時の消費税額を明確に記載した請求書を発行・保存し、正確な税額の申告・納税を促す税制度）、フリーランス保護法より、事務作業が煩雑になることから、その対策としてDX化のさらなる推進をはかり、適正な人員を配置します。
- ⑦ シルバー情報提供アプリ「Smile to Smile」のさらなる利用を推進するための研修会を開催し、会員のDXスキルの上昇をはかるとともに、効率的な情報提供につとめ、情報伝達にかかるコストの削減を目指します。

(3) 報告第3号 令和6年度 収支予算について

収 支 予 算 書
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度 当初予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	99,708	109,754	△ 10,046
受取配分金	81,000	91,000	△ 10,000
受取材料費	8,000	7,400	600
受取事務費	10,708	11,354	△ 646
指定管理事業受託収益	14,625	14,034	591
指定管理受託収益	14,625	14,034	591
労働者派遣事業等受託収益	4,500	4,300	200
労働者派遣事業受託収益	4,500	4,300	200
受取会費	1,080	1,020	60
正会員受取会費	1,080	1,020	60
受取補助金等	31,428	31,193	235
受取連合交付金	13,339	13,339	0
受取市(区)町村補助金	18,089	17,854	235
受取負担金	250	250	0
受取負担金	250	250	0
特定資産運用益	1	1	0
特定資産受取利息	1	1	0
雑収益	56	41	15
受取利息	1	1	0
雑収益	55	40	15
経常収益計	151,648	160,593	△ 8,945
(2) 経常費用			
事業費	153,923	160,916	△ 6,993
支払配分金	86,700	96,462	△ 9,762
支払材料費等	8,005	7,405	600
給料手当	23,658	23,214	444
臨時雇賃金	3,426	3,256	170
法定福利費	3,230	3,265	△ 35
退職給付費用	456	456	0
福利厚生費	391	332	59
賞与引当金繰入額	1,534	1,689	△ 155
旅費交通費	68	72	△ 4
通信運搬費	1,271	1,289	△ 18
減価償却費	83	145	△ 62
会議費	25	43	△ 18
什器備品費	0	173	△ 173

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度 当初予算額	増 減
消耗品費	4,757	4,412	345
修繕費	1,413	1,025	388
印刷製本費	434	519	△ 85
光熱水料費	3,546	3,209	337
賃借料	3,339	3,216	123
保険料	2,069	2,172	△ 103
諸謝金	566	710	△ 144
租税公課	2,467	1,548	919
支払負担金	334	202	132
委託費	5,288	5,284	4
教材費	11	11	0
支払手数料	172	127	45
雑費	680	680	0
管理費	2,493	2,618	△ 125
給料手当	535	514	21
法定福利費	86	85	1
退職給付費用	24	24	0
福利厚生費	4	5	△ 1
賞与引当金繰入額	48	46	2
会議費	20	33	△ 13
役員等旅費交通費	615	635	△ 20
旅費交通費	33	33	0
通信運搬費	131	151	△ 20
消耗品費	180	115	65
印刷製本費	71	219	△ 148
光熱水料費	6	6	0
賃借料	7	7	0
保険料	29	29	0
諸謝金	33	33	0
租税公課	10	10	0
支払負担金	277	277	0
委託費	224	236	△ 12
支払手数料	10	10	0
雑費	150	150	0
経常費用計	156,416	163,534	△ 7,118
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,768	△ 2,941	△ 1,827
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,768	△ 2,941	△ 1,827

(3) 報告第3号 令和6年度 収支予算について

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度 当初予算額	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却(除去)損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,768	△ 2,941	△ 1,827
一般正味財産期首残高	46,810	39,941	6,869
一般正味財産期末残高	42,042	37,000	5,042
II 正味財産期末残高	42,042	37,000	5,042

1. 投資活動及び財務活動に関する見込み

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度 当初予算額	増 減
【投資活動収支の部】			
(投資活動収入)			
特定資産取崩収入	0	0	0
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0
周年記念事業積立資産取崩収入	0	0	0
事業所整備積立資産取崩収入	0	0	0
投資活動収支計	0	0	0
(投資活動支出)			
固定資産取得支出	0	0	0
什器備品購入支出	0	0	0
特定資産取得支出	0	0	0
退職給付引当資産取得支出	0	0	0
減価償却引当資産取得支出	0	0	0
周年記念事業積立資産取得支出	0	0	0
事業所整備積立資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
【財務活動収支の部】			
(財務活動収入)			
借入金収入	0	0	0
短期借入金収入	0	0	0
リース債務収入	0	0	0
リース債務収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
(財務活動支出)			
借入金返済支出	0	0	0
短期借入金返済支出	0	0	0
リース債務返済支出	0	0	0
リース債務返済支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0

2. 借入金限度額

短期借入金限度額は2,000,000円とする。

3. 債務負担額	7,374,456円
令和5年度	2,747,418円
令和6年度	1,945,114円
令和7年度	1,538,554円
令和8年度	884,650円
令和9年度	258,720円

(4) 報告第4号 資金調達及び設備投資の見込み

事業	自	令和6年4月1日	法人コード	A007171
年度	至	令和7年3月31日	法人名	公益社団法人猪名川町シルバー人材センター

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入の予定の有無を記載し、借入予定がある場合は、その借入先等を記載して下さい。

借入の予定		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
事業 番号	借入先	金額	使 途

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除去又は売却を含む)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容を記載して下さい。

設備投資の予定		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途

収支補正予算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	予 算 額	第1回目 補正	予算現額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	99,708	0	99,708
受取配分金	81,000	0	81,000
受取材料費	8,000	0	8,000
受取事務費	10,708	0	10,708
指定管理事業受託収益	14,625	0	14,625
指定管理受託収益	14,625	0	14,625
労働者派遣事業等受託収益	4,500	0	4,500
労働者派遣事業受託収益	4,500	0	4,500
受取会費	1,080	0	1,080
正会員受取会費	1,080	0	1,080
受取補助金等	31,428	0	31,428
受取連合交付金	13,339	0	13,339
受取市(区)町村補助金	18,089	0	18,089
受取負担金	250	0	250
受取負担金	250	0	250
特定資産運用益	1	0	1
特定資産受取利息	1	0	1
雑収益	56	0	56
受取利息	1	0	1
雑収益	55	0	55
経常収益計	151,648	0	151,648
(2) 経常費用			
事業費	153,923	0	153,923
支払配分金	86,700	0	86,700
支払材料費等	8,005	0	8,005
給料手当	23,658	0	23,658
臨時雇賃金	3,426	0	3,426
法定福利費	3,230	0	3,230
退職給付費用	456	0	456
福利厚生費	391	0	391
賞与引当金繰入額	1,534	0	1,534
旅費交通費	68	0	68
通信運搬費	1,271	0	1,271
減価償却費	83	0	83

(5) 報告第5号 令和6年度 収支補正予算(第1号)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	第1回目 補正	予算現額
会議費	25	0	25
什器備品費	0	0	0
消耗品費	4,757	0	4,757
修繕費	1,413	0	1,413
印刷製本費	434	0	434
光熱水料費	3,546	0	3,546
賃借料	3,339	0	3,339
保険料	2,069	0	2,069
諸謝金	566	0	566
租税公課	2,467	0	2,467
支払負担金	334	0	334
委託費	5,288	0	5,288
教材費	11	0	11
支払手数料	172	0	172
雑費	680	0	680
管理費	2,493	0	2,493
給料手当	535	0	535
法定福利費	86	0	86
退職給付費用	24	0	24
福利厚生費	4	0	4
賞与引当金繰入額	48	0	48
会議費	20	0	20
役員等旅費交通費	615	0	615
旅費交通費	33	0	33
通信運搬費	131	0	131
消耗品費	180	0	180
印刷製本費	71	0	71
光熱水料費	6	0	6
賃借料	7	0	7
保険料	29	0	29
諸謝金	33	0	33
租税公課	10	0	10
支払負担金	277	0	277
委託費	224	0	224
支払手数料	10	0	10
雑費	150	0	150

(単位：千円)

科 目	予 算 額	第1回目 補正	予算現額
経常費用計	156,416	0	156,416
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,768	0	△ 4,768
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,768	0	△ 4,768
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却(除去)損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,768	0	△ 4,768
一般正味財産期首残高	46,810	4,306	51,116
一般正味財産期末残高	42,042	4,306	46,348
Ⅱ 正味財産期末残高	42,042	4,306	46,348

(5) 報告第5号 令和6年度 収支補正予算(第1号)

収支予算書に係る注記

1. 投資活動及び財務活動に関する見込み

(単位:千円)

科 目	予 算 額	第1回目 補正	予算現額
【投資活動収支の部】			
(投資活動収入)			
特定資産取崩収入	0	0	0
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0
周年記念事業積立資産取崩収入	0	0	0
事業所整備積立資産取崩収入	0	0	0
投資活動収支計	0	0	0
(投資活動支出)			
固定資産取得支出	0	0	0
什器備品購入支出	0	0	0
特定資産取得支出	0	0	0
退職給付引当資産取得支出	0	0	0
減価償却引当資産取得支出	0	0	0
周年記念事業積立資産取得支出	0	0	0
事業所整備積立資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
【財務活動収支の部】			
(財務活動収入)			
借入金収入	0	0	0
短期借入金収入	0	0	0
リース債務収入	0	0	0
リース債務収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
(財務活動支出)			
借入金返済支出	0	0	0
短期借入金返済支出	0	0	0
リース債務返済支出	0	0	0
リース債務返済支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0

2. 借入金限度額

短期借入金限度額は2,000,000円とする。

3. 債務負担額	7,374,456円
令和5年度	2,747,418円
令和6年度	1,945,114円
令和7年度	1,538,554円
令和8年度	884,650円
令和9年度	258,720円